

平成 24年11月1日(木)発行

# 道建協とうほく

No.50

編集 一般社団法人 日本道路建設業協会  
東北支部 広報委員会



(秋田県上小阿仁村 2012.10)

目次

・ 行事報告 .....	1
・ 対外活動 .....	7
・ 委員会活動 .....	8
・ 行事予定 .....	12
・ 会員だより .....	13
・ 随想 .....	15
・ 特別寄稿 .....	17



## 行事報告

### 1. 「道路功労者表彰（日本道路協会）」の表彰伝達式

日 時 平成24年8月31日（水）

場 所 仙台国際センター

（仙台市青葉区青葉山）

一般社団法人 日本道路協会は事業の一環として、毎年8月10日「道の日」に、わが国の道路整備事業の発展にご尽力された個人、及び団体を表彰してきました。道建協関係の受賞者は「道路建設業関係会社の従業員として、多年（概ね二十年以上）にわたり業務に精励し、施工の改善・合理化、作業効率等の推進に尽力し、他の模範となる者（個人）」という事由で表彰対象となっており、道建協本部からの推薦をうけて、主催の日本道路協会が表彰者を決定しています。受賞者への表彰は、各推薦団体が代行することになっており、東北支部においては早稲田支部長、川内幹事長が参席し、受賞者4名に対する表彰状の伝達を行ないました。

受賞者（4名・順不同）

大 槻	総	日建工業株式会社
齊 藤	勝 教	前田道路株式会社 東北支店
軽 部	透	前田道路株式会社 東北支店
橋 場	徹	前田道路株式会社 東北支店

支部長からの祝辞（抜粋）

東北では、震災復興への動きが本格化してきます。皆様方には、長年現場で培われてきた技量を十分に発揮していただき、郷土の安全・安心を守る道路づくりに貢献してほしいと、思っております。これからも健康に十分ご留意され、ご活躍下さい。本日の受賞まことにありがとうございます。



後方左から 軽部、齊藤、橋場、大槻  
手前左から 川内幹事長、早稲田支部長

## 2. 舗装施工管理技術者 技術講習会

日 時 平成24年8月31日  
平成24年9月28日  
場 所 仙台国際センター  
岩手県産業会館

舗装施工管理技術者技術講習会を開催しました。これまでの受講者へのアンケートで、「会場までが遠いので各県で実施してほしい（受講者の負担が大きい）」との声が多く、特に東北地方はこれまで仙台のみで、時間や費用の面で負担が大きかったものと推測されます。そこで今年からは、新たに盛岡でも開催することに致しました。受講者数は仙台会場で465名、盛岡会場で172名、合計647名の申し込みがあり、両会場併せて597名の方々が受講しました。



仙台会場



盛岡会場

### < 講習科目・講師 >

#### 舗装事業をめぐる社会・経済情勢と技術者制度

東北地方整備局 道路部 道路情報管理官 熊谷 陽寿 氏

#### 舗装工事の安全対策

道建協本部 環境・安全労働委員会 守屋 孝之

〃 永原 和裕

#### 建設副産物対策

道建協本部 環境・安全労働委員会 阿部 重夫

〃 柴田 吉春

#### 最近の舗装技術の動向

道建協本部 技術委員会 光谷 修平

〃 浜田 幸二



熊谷講師



浜田講師



### 3. 総合防災訓練

9月3日、東北地方整備局と合同で防災訓練を実施しました。今年の防災訓練は、昨年未曾有の災害をもたらした「東日本大震災」時の経験・評価・反省を踏まえ、真っ先に求められる人命救助や地域住民の安全・安心を一刻も早く確保するための支援に徹した「全国初動訓練」とし、次の4つを重点方針に行ないました。

- ・本部（東京）および全国の支部が一体となった訓練
- ・東北地方整備局及び各県の6事務所に「リエゾン」を派遣
- ・人命救助や被災者が必要とする緊急支援物資の全国調達訓練
- ・道路啓開に必要な資機材（As合材・砕石・重機等）の情報提供

「道建協」として自主的に取りまとめたものや東北支部が平成22年8月にWeb上に公開した「防災マップ東北地区アスファルトプラント位置図」により得られるものなど、下記の3つの情報をリエゾンが整備局および東北6県の河川国道事務所に持参しました。これらの情報は、整備局から初動防災活動情報として高い評価を得ました。

調達可能資機材リスト

被災地近傍の工事現場からの調達可能リスト

道路復旧資機材（As合材、砕石、重機等）調達可能リスト

今回の訓練では、本部をはじめ、全国の支部の協力を得ることができ、改めて「道建協」の強さを認識いたしました。



支部災害対策本



リエゾン派遣(整備局)



防災マップ URL <http://www.jrca-chapter.net/tohoku55/index.htm>

#### 4. 平成24年度 安全環境講習会

日 時：平成24年10月18日（木）

13:00～17:00

場 所：宮城県建設産業会館 1階会議室

（仙台市青葉区）

主 催：道建協・安全環境委員会

参加者：約100名

（受講者 75名（会員21社））



（写真提供：建設新聞社）

安全環境委員会は、「ゼロ災害」を目標に、会員会社の安全活動のレベルアップを支援するために、現場安全パトロールを中心に活動を展開していますが、その一環として毎年安全環境講習会を開催してきました。今年は本格的な震災の復旧・復興工事で忙しい時期での開催となりましたが、例年同様会員各社から多数の受講者がありました。

今回は、外部講師として当協会が日頃から関係する三機関（東北地方整備局、仙台労働基準監督署、仙台北警察署）から工事事故防止に関する講話をいただきました。

また、現場代理人等による23年度優良工事の事例報告も写真を多用して、簡潔で分かりやすい説明がありました。

4時間で、盛りだくさんの講習内容でしたが、皆さん最後まで熱心に聴講されていました。

“現場の皆さん「ご安全に！」”

開会のあいさつ 宮村 博三 安全環境委員長（抜粋）

- ・震災から1年7ヶ月が経ち、復興元年として数多くの災害復旧工事が発注され、復興への動きが本格化しています。
- ・会員各社常日頃から、様々な工夫を重ね、安全対策に取り組んでこられていると思いますが、未だ尊い犠牲者が後を絶たない状況にあり、建設工事の安全確保はこれまでも、これからも大変大きな課題であります。
- ・今年の安全週間のスローガン「ルールを守る安全職場 みんなで目指す ゼロ災害」ですが、これは長い歳月をかけ尊い犠牲と多くの失敗から学び、作業に携わった人々が築き継承してきた技術であり企業の文化でもあり、ルールを守ることにより家族が安心して暮らせることのメッセージが盛り込まれております。

講 話

（1）「工事事故防止策と最近の工事事故の動向について」

東北地方整備局 技術管理課 建設専門官 木越 養一 氏

公共事業を巡る最近の話題について

整備局での事故件数・特徴 外

昨年度及び今年度発生した事故事例

事故減少にむけて

（2）「安全衛生管理の留意点について」

宮城労働局 仙台労働基準監督署 安全衛生課長 高橋 俊幸 氏

仙台労基署管内での労働災害発生状況

23年・24年死亡労働災害事例

23年・24年総研事例

(3) 「現道工事における安全対策について」

仙台北警察署 交通課 交通指導統括係長 後藤 洋一 氏

道路使用現場の交通保安対策

高速道路通行時の注意事項

(4) 23年度優良工事・事例報告

根下戸新町地区舗装工事 (株)ガイアート T・K 荒津内 弘志

石巻管内応急復旧その3工事 東京舗装工業(株) 木村 直幸

矢引地区舗装工事 世紀東急工業(株) 下小路 幸三

大岩川地区舗装工事 前田道路(株) 小杉 正弘

閉会のことば 上河 忍 安全環境副委員長

## 5. 官民合同安全パトロール

日時：平成24年10月10日(水)

対象工事：中渡地区道路改良舗装工事

(前田道路(株)東北支店 施工)

参加者：【青森河川国道事務所】

齋藤事業対策官ほか6名

【道建協】

道建協早稲田支部長、宮村安全環境委員長、

上河副委員長、委員5名(伊藤(勝)、高橋、

鈴木、伊藤(忠)、秋山)、事務局畠山



パトロール状況

改良舗装工事における事故防止について、より実践的な対策を講じることを目的に、安全環境委員会が取り組んできた「官民合同安全パトロール」が、青森河川国道事務所のご協力により実施されました。

当該工事は、八戸 JCT から久慈 IC に至る高規格幹線道路(八戸南道路)改築事業の八戸市金浜～階上町道仏地内の改良舗装工事となります。小川現場代理人からの工事概要説明を受けた後、現場班と書類班の2班に分かれて、点検リストをもとに実地点検しました。

その後の意見交換会では、点検結果に基づき、問題点などの指摘や良かった点などについて、各点検者から活発な意見が出されました。

平成24年10月26日に、本安全パトロールの実施結果の報告書、並びに改善・是正報告書を青森河川国道事務所長に提出しました。



意見交換会



## 6. 建設技術公開 「E E東北'12」

日 時 : 平成24年10月24日(水)~25日(木)

場 所 : 夢メッセみやぎ(仙台市宮城野区港)

主 催 : 「E E東北」実行委員会(東北地整、6県、仙台市、NEXCO、9建設業関連団体)

参加者: 約10,000名

『世界が驚く復興目指せ! 新技術が築く 未来の東北』をキャッチコピーに、「E E東北'12」が開催され、過去最多の295の出展者が661技術の展示がありました。支部会員からは下記の11社が出展ブースを設け、入場者に新技術の紹介、PRを行いました。

また、会場内の特設会場では、復旧復興、維持管理、建設段階、防災・安全をテーマとした新技術プレゼンテーションも行われ、立ち見ができることもあり、好評を博し盛況な2日間でした。

### 【新技術展示会 出展会員】

- ・大林道路(株)東北支店
- ・(株)ガイアートT・K
- ・鹿島道路(株)
- ・(株)佐藤渡辺 東北支店
- ・世紀東急工業(株)東北支店
- ・大成ロテック(株)東北支社
- ・東亜道路工業(株)東北支社
- ・(株)NIPPON 東北支店
- ・日本道路(株)東北支店
- ・福田道路(株)東北支店
- ・前田道路(株)



オープニングセレモニー 中央 早稲田支部長

### 【新技術プレゼンテーション 出展会員】

- ・鹿島道路(株) --- 一般車を利用した多機能路面測定システム[維持管理]
- ・(株)NIPPON 東北支店 --- 地震対策型段差抑制工法 HRB 工法[復旧復興]
- ・前田道路(株) --- 中央混合方式高耐久路盤材(マイルドベース)[復旧復興]



道建協のパネル展示



ブースの状況



## 対 外 活 動

(H24/8/1~)

### 1) 東北地方整備局関係

#### 管内業務発表会

日 時：平成24年8月1日(水)～2日(木)

場 所：東北地方整備局、東急二日町ビル

この発表会は、東北地整が職員の技術力や業務能力の向上を目的に、各業務分野での取組事例や創意工夫事例などを発表する場として実施されてきました。その後、発表者を地方自治体や関係団体、民間に広げ、また技術系だけでなく行政経済分野も包括した東北をフィールドとした最新情報や創意工夫の発表、情報提供が行われてきました。今回は、88件の応募があり、道建協会員から次の発表がありました。

【テーマ：新技術】

「中温化技術を用いたアスファルト舗装」 東亜建設工業(株)東北支店 千葉 哲也 氏  
(発表された論文は、東北地整のHP(ホームページ)に公開されています。)

#### 東北地方建設産業社会保険未加入対策推進協議会

日 時：平成24年8月30日(木) 10:30～12:00

場 所：ハーネル仙台

出席者：事務局長

議 事：規約制定(設立会)

#### 「EE東北'12」 実行委員会(第2回)

日 時：平成24年8月6日(月) 13:30～15:00

場 所：フォレスト仙台

出席者：早稲田支部長、川内幹事長、石井技術委員長

議 事：1)「EE東北'12」開催について  
2)「EE東北'12」の実施方針について

### 2) 東日本高速道路(株)東北支社関係

#### 緊急安全対策連絡会(緊急安全大会)

日 時：平成24年8月29日(水) 11:00～12:00

場 所：東日本高速道路(株)東北支社

出席者：契約中工事受注者の代表者

次 第：工事中事故防止安全対策

### 3) 後 援 行 事 他

#### 「平成24年度 東北地区 建設物価懇談会」

日 時：平成24年10月11日(木) 16:00～19:00

場 所：KKRホテル 仙台

主 催：一般財団法人 建設物価調査会

出席者：事務局長(代)

議 題： 主要建設資材の需要・価格動向  
被災3県における建設投資と建設物価動向  
公共事業労務費調査について  
意見交換 ほか

第14回 日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム (後援)

日 時：平成24年10月22日(水) 13:00~15:35

場 所：東京第一ホテル 鶴岡

出席者：早稲田支部長

次 第： 意見発表 青森・秋田・山形・新潟県から各1名

記念講演

「目標達成へのプロセス~チームワークとコミュニケーション~」

なでしこJAPAN監督 佐々木 則夫 氏

大会決議 鶴岡商工会議所 会頭 早坂 剛 氏

## . 委員会等の活動状況

(H24/8/1~)

### 1) 幹事会

【第3回】 日 時：平成24年9月24日(月) 13:30~15:00

出席者：早稲田支部長、川内幹事長、幹事10名

議 事： 24年度 安全環境講習会・安全パトロールについて

アス混合物事前審査の実施状況について

AEDの寄贈について

社会保険加入促進について

### 2) 広報委員会

【第2回】 日 時：平成24年8月3日(金) 13:30~

出席者：清水委員長、齋藤副委員長、委員5名(内海、三澤、三上、伊藤、国井)

議 事： ボランティア活動について

震災広報パネルについて

AEDの寄贈について

【災害ボランティア活動】 特別寄稿に関連記事

日 時：平成24年9月19日(水) 10:00~

場 所：仙台市若林区種次地内

内 容：側溝の泥上げ作業

参加者：清水委員長、齋藤副委員長、委員ほか計39名(在仙22社)

【第3回】 日 時：平成24年10月15日(月) 13:30~

出席者：清水委員長、齋藤副委員長、

委員6名(佐藤(代)、林、内海、三上、伊藤、宮本)

議 事： ボランティア活動について(報告・方針)

AEDの寄贈について

広報紙「道建協とうほく」について

「70年記念誌」発刊に向けての資料収集について

### 3)技術委員会

【第1回】日 時：平成24年8月22日（水） 10：30～

出席者：石井委員長、大西副委員長、委員9名（佐藤力、高橋、稲辺、  
佐藤透、山本、藤永、浅田、永澤、本間、鈴木、大山、西脇）

議 事：東北地方整備局から道建協への依頼事項

議 題：コンクリート舗装の品質・出来映えの向上

平坦性の向上について

連続鉄筋コンクリート舗装のクラック間隔と幅について

【第2回】日 時：平成24年10月22日（月） 15：30～

出席者：委員9名

（佐藤力、佐藤雅、稲辺、佐藤透、藤永、浅田、永澤、本間、大山）

議 事：東北地方整備局からの依頼事項への対応結果

議 題：コンクリート舗装の品質・出来映えの向上

平坦性の向上について

連続鉄筋コンクリート舗装のクラック間隔と幅について

### 4)公共工事委員会

<WG> 日 時：平成24年9月10日（月） 13：30～

出席者：佐藤、熊本、秋山、手塚、新田、鎌田、若狭、田澤、大山

議 事：平成23年度道路舗装工事受注状況のまとめについて

整備局との研究会について（議題の検討）

【第1回】日 時：平成24年9月26日（水） 13：30～

出席者：松谷委員長、皆川副委員長、委員11名、（佐藤、小池、熊本、  
秋山、手塚、新田、鎌田、若狭、田澤、阿部雅、大山）

議 事：平成23年度道路舗装工事受注状況のまとめについて

整備局との研究会について

### 5)安全環境委員会

【第2回】日 時：平成24年9月6日（木） 10：00～

出席者：宮村委員長、上河副委員長、委員12名（須藤、伊藤勝、鈴木、  
秋山、菊池、大谷、高橋、佐々木、高木、永澤、斎藤、早坂）

議 事：官民合同パトロールについて

現場パトロールについて

安全環境講習会について

SAFETY安全論文について

【第3回】日 時：平成24年10月18日（木） 11：00～

出席者：宮村委員長、上河副委員長、委員13名、（須藤、伊藤勝、鈴木、  
秋山、菊池、高橋（広）、高橋（隆）、伊藤忠、佐々木、高木、永澤、  
斎藤、早坂）

議 事： 官民合同パトロールの結果について  
安全環境講習会役割分担

【NEXCO安全パトロール】

日 時：平成24年10月11日 10:00～（郡山管理事務所管内）

平成24年10月12日 10:00～（福島管理事務所管内）

点検員：菊池委員、大谷委員

【安全パトロール】

安全環境委員会による24年度安全パトロールが10月に次のとおり実施しました。

（ =実施月日、 =点検員、 =対象工事・施工場所・施工会社）

（宮城・秋田班） 平成24年10月23日（火）～24日（水）

上河副委員長、佐々木委員、伊藤忠委員、斎藤委員

上川原道路舗装工事 大河原町 フジタ道路(株)

志波姫地区舗装工事 栗原市 三井住建道路(株)

雪沢第一トンネル舗装工事 小坂町 大成ロテック(株)

（青森A班） 平成24年10月25日（木）～26日（金）

高橋委員、秋山委員

犬落瀬地区道路舗装工事 六戸町 日本道路(株)

堀切沢地区道路舗装工事 六戸町 大林道路(株)

道ノ下地区道路舗装工事 東北町 鹿島道路(株)

（青森B班） 平成24年10月25日（木）～26日（金）

清水幹事、早坂委員、伊藤勝委員

土筆山道路舗装工事 青森市 佐藤渡辺(株)

柳川道路改良舗装工事 五所川原市 三井住建道路(株)

（岩手班） 平成24年10月25日（木）～26日（金）

松谷幹事、斎藤幹事、菊池委員、鈴木委員、永澤委員

普代地区舗装工事 普代村 東亜道路工業(株)

大瀬川地区舗装補修工事 花巻市 (株)伊藤組

宮守東和道路舗装維持補修工事 遠野～花巻市 (株)NIPPO

（山形・福島班） 平成24年10月30日（火）～31日（水）

宮村委員長、近藤幹事、大西幹事、大谷委員、須藤委員、高木委員

西会津地区道路災害復旧工事 西会津町 福田道路(株)

下神林地区道路改良工事 米沢市 (株)後藤組

対象工事の現場代理人や現場の皆様にご多大のお世話になりました。安全確保に務められ  
無事故・無災害で完工できるようお願いいたします。



## 6)防災委員会

<WG> 日 時：平成24年8月6日(月) 13:30~

(第2回) 出席者：新田、鎌田、伊藤忠、奥村、田澤、大山

議 事：防災訓練について

<WG> 日 時：平成24年8月10日(金) 14:00~

(臨時) 出席者：新田、田澤

議 事：防災訓練について

<WG> 日 時：平成24年8月21日(火) 14:00~

(第3回) 出席者：新田、網代、鎌田、伊藤忠、奥村、田澤、大山

議 事：防災訓練について

<WG> 日 時：平成24年8月28日(火) 13:30~

(第4回) 出席者：新田、鎌田、伊藤忠、奥村、田澤、大山

議 事：防災訓練について

【第2回】 日 時：平成24年8月29日(水) 13:30~

出席者：早稲田支部長、川内幹事長、委員12名(中上、伊藤勝、鈴木、堂尻、石頭、新田、鎌田、伊藤忠、井田、田澤、坂上、大山)

議 事：総合防災訓練(9月3日)の実施について

## 7)NEXCO震災復旧工事(WG)

構 成：震災復旧工事受注会員会社

担 当：公共工事委員会=松谷委員長、小池委員、杉崎委員

技 術 委 員 会=浅田委員、永澤委員

事務局=松原

【第2回】 日 時：平成24年8月7日(火) 10:00~

議 事：課題検討

【第3回】 日 時：平成24年9月7日(金) 13:30~

議 事：課題取りまとめ

【意見交換】 日 時：平成24年9月19日(水) 10:00~

場 所：NEXCO 東北支社

出席者：担当6名

テーマ：施工上の諸課題

【第4回】 日 時：平成24年10月24日(水) 14:30~

議 事：NEXCO照会取りまとめ

【意見交換】 日 時：平成24年10月24日(水) 16:00~

場 所：NEXCO 東北支社

出席者：担当6名

テーマ：NEXCO 照会事案

## . 行事予定

1) 東北地方工事安全施工推進大会 (SAFETY 2012)

日 時：平成24年11月8日(木) 13:15~15:10

会 場：仙台市青年文化センター(シアターホール)

2) AED寄贈

道の駅「月山」

日 時：平成24年11月19日(月) 13:00~

道の駅「ふたついで」

日 時：平成24年11月22日(木) 13:00~

(出席者=早稲田支部長、清水広報委員長、三澤委員、伊藤委員)

3) NEXCO安全パトロール

日 時：平成24年11月21日 10:00~

場 所：相馬工事事務所管内

点検員：菊池委員

4) 道路講演会(後援)

日 時：平成24年12月5日 14:00~17:15

会 場：戦災復興記念館

5) 委員会活動報告会・年末懇談会

日 時：平成24年12月6日 16:00~19:00

会 場：ホテル メトロポリタン仙台

# 会員だより

## 『忘れていませんか？復興』

大成ロテック株式会社 東北支社  
仙台東アスコン 高村 信昭

東日本大震災より一年半が経ち、私の今いる宮城県では復興に関わる社会基盤の再生がピークであり、被災した合材工場の建替え、震災需要による合材出荷及び廃棄物処理の対応に追われる日々が続いています。

最近、マスコミやテレビを見て、復興に大きく起因する瓦礫の受入れに関し、しばし思うことがあります。それは他県や廃棄物処理関連企業において、瓦礫の受入れを賛成している人と、反対をしている人がいることです。

具体的にあげると、東北復興を想い対応しようとする人。被災地区は東北だけにしておきたい人。利権や企業の利害損得考える人。のことを指します。

の人は、はたから見ると酷い人に見えがちですが、人間ですから動機、理由は様々であり、人にも企業にも重要なこととは理解していますが、たった一年半で復興という言葉ばかり口にして、意味の部分は薄らいでおり、結果対応が先送りになっていると感じます。

そして私自信も事実、震災需要の利害損得を考えた一人であり、東北復興のためにという想いは薄らいでいたと思います。

今一度、あの震災当時の記憶や気持ちを思い出し、今自分ができる復興を考え、実施してみてもどうでしょうか。

今、私ができる復興とは、復興需要に全力で取り組む職員の健康と安全を考え、又当工場を支えてくれる沢山の協力会社方々との輪を大切に、被災者と被災地域の為に社会基盤の再生に貢献できる工場づくりを実践することだと考えます。



【共同企業体 仙台東アスコン(新設)】

## 『軟らかい』でなく『柔らかい』舗装

福田道路株式会社 東北支店  
執行役員支店長 皆川 淳一

当社は、雪国新潟に技術研究所があり、冬のツルツル路面对策に長い間力を注いできました。このたび当社が開発しました『アイス・インパクト』をこの場をかりてご紹介いたします。

この舗装は、一言で言うと『柔らかい』舗装と表現でき、決して軟らかいだけの舗装ではありません。この柔軟性という特長を活かし、橋梁舗装や凍結抑制舗装といった用途にご採用いただいております。まだ効果の程は未知数な部分もありますが、厳しい冬の待つ、ここ東北における寒冷地舗装という分野で、今後の復興の一助となれば幸いです。

皆さん、柔らかい思考で復興へと進みましょう。

## アイス・インパクト

高いたわみ性でリフレクションクラック対策！  
弾性のアスファルトモルタルで氷を割る！



高い柔軟性でリフレクションクラック抑制！  
冬期には氷が割れてツルツル路面解消！



## 随 想

### 『61万歩と万歩計』



企画運営委員長 川内 正  
(東亜道路工業株式会社 東北支社)

大震災の復旧復興に全力で取り組んでいる皆さんお疲れ様です。会社からはその成果を強く求められ、日夜ご苦労されていることとお察し申し上げます。

さて、皆さん方にも万歩計をつけたり、ウォーキングをされている方も多いのではないかと思います。

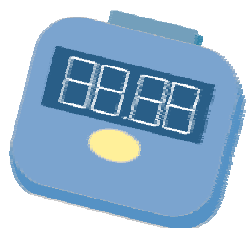
私も昨春から始め、この9月からは万歩計をつけている。当社健保組合の「10月～11月に1日1万歩で61万歩」に挑戦し、ウォーキングを楽しんでいる。

万歩計をつけてから「意識が変わり行動が変わって」きた。マンション(4階)の上り下りもできるだけ歩くようになったし、会社(5階)も時々歩いている。かなり息切れはするが・・・。

ゴルフでは諸兄と同様カートにお世話になっているが、最近はカートに乗る回数が減ってきた。「天気も良いし歩こう」などとゴルフを楽しんでいる。実際は右や左に曲げて、上り下りで足はパンパンになっているが。(笑) 夜自宅に帰っても万歩計で「まだ1万歩に足りない」と着替えてから周辺を歩くようになった。雨降りの日などは半分にも満たないので、土日などにまとめて稼ぐようにしている。

先日出張で東京に行ってきた。東京駅から地下鉄へ、そして乗り換え目的地へ。また、地下鉄から東京駅へ、そしてJR京葉線へと歩くこと歩くこと。この日は1万9千歩余り歩いた。東京周辺に勤務する人は1日にかなり歩いているんだなと実感して帰ってきた。

(平成24年10月記)



## 『委員会随想』

安全環境副委員長 上 河 忍  
(株式会社 佐藤渡辺 東北支店)



昨年度、道路建設業協会東北支部で安全環境副委員長を拝命した私は、以後、委員の方々と共に「安全講習会」、「現場安全パトロール」、「官民合同安全パトロール」等の活動に参加させて頂きました。

これらの活動の中で、「官民合同安全パトロール」について感想を述べたいと思います。官民合同パトロールは官側(国土交通省)と民側(道路建設業協会)が合同で行う安全パトロール(平成15年度より6回実施)です。

私は、昨年度と今年度の2度の官民合同安全パトロールを経験し、多くのことを学ばせて頂きました。

特に、官側が高齢労働者に対する数多くの作業対策(階段設置、手摺設置等)を実施されていることは、大変参考になりました。

急速に少子高齢化時代を迎えている日本において、私たち建設業も若い労働者の減少と高齢労働者の増加傾向が進んでいます。

しかし、経験を重ねて来られた高齢労働者の方々は、若い労働者にとって模範になる多くの技術・技能を持っておられます。

経験豊かな方々が安心して働ける現場環境を整えて行くことが、私たち建設業の使命であると、官民合同安全パトロールに参加させて頂き、改めて認識することができました。

(平成24年10月記)

## 特別寄稿

### 『台座に込められた思い』

広報委員長 清水 俊介  
(世紀東急工業株式会社 東北支店)

未曾有の大震災から1年半以上の月日が経過したなか、会員各社とも復興復旧需要に応えるべく日々奮闘されていると思います。今こそ、社会インフラを支える私共の力を発揮する時です。心身とも疲労のピークにさしかかる時期ではありますが、まだまだ出口の見えない状況です。安全第一で取り組んでいきましょう。

さて、皆様ご存じの通り、今年度の東北地方整備局には20年ぶりに新事務所が設立されました。三陸沿岸の復興の要である「南三陸国道事務所」です。岩手県釜石市鵜住居町に新設された事務所の陣容は、所長以下総勢38名（技術職：24名、事務職：14名）。このうち10名が他の地方整備局からの応援となっており、国としてもまさに総力結集といったところですが、今年度の事業費は約270億円。宮城県境から岩手県下閉伊郡山田町間の復興道路及び復興支援道路の改築事業に関する業務を担当します。そして、今年の4月9日に行われた開所式でお披露目された新事務所の庁舎銘板にはある思いが込められています。

この庁舎銘板、官公庁の銘板としては一風変わっています。通常は木製であったり、鋳物であったりと材質は様々ですが、柱や壁に掛けられていること多いのではないのでしょうか。ところが、この銘板は台座に鎮座されています。その四角形の台座をよく見ると、四面ともデザインが施されており、それぞれ対になって鳥と魚が描かれています。ここに描かれている鳥は釜石市の鳥「オオミズナギドリ」、魚は釜石市の水産業の中心となる「さけ」です。今年の2月から急ピッチで進んだ事務所開設準備の中、どのような過程で台座は作られたのでしょうか。



実はこの台座、市内中心部に架かる「矢の浦橋」の高欄レリーフを復活させたものです。「矢の浦橋」は3.11東日本大震災により津波の直撃を受け浸水しながらも、震災後の初期段階から交通路や下水管の緊急設置場所として復旧に大きく貢献した橋です。この橋を通して多くの支援物資が釜石に運び込まれました。また、たくさんの善意や復旧への熱い思いを渡してきた橋でもあります。しかし、残念なことの津波の直撃を受けた橋の高欄は変形し、高欄としての役目を果たせなくなってしまったのです。

そこでこの高欄レリーフを台座に復活させることとなったのです。このレリーフの材質は「鉄」です。かつて釜石市が戦災からの復興を遂げたのも「鉄」の力でした。今回の大震災から1日でも早く復興を...、釜石の地に事務所を設けるときの所員の思いはこの一つと伺いました。その思いを、震災後の生活を支えた橋の高欄と、釜石市を象徴するレリーフのデザイン、そして釜石の復興の力になった鉄に込めたのです。南三陸国道事務所の庁舎銘板の台座は、復興への思いをぎゅっと中に押し込め、そして復興への希望の道標である事務所の名前を支えているのです。

1日も早い復興をとの思いが込められた台座。私たちも舗装のスペシャリストとしてこの思いと一緒に支えていこうじゃありませんか。

(平成24年10月記)



被災前の矢の浦橋



被災直後の矢の浦橋



被災した矢の浦橋のレリーフ



## 『ボランティア活動のご報告』

広報委員会 三澤 健太郎  
(世紀東急工業株式会社 東北支店)

さる9月19日(水)に、在仙会員各社のご協力を得まして、道建協主催の震災ボランティア活動を実施致しました。事前に、仙台市社会福祉協議会仙台市ボランティアセンターと活動場所及び活動内容について、協議を行った結果、活動場所は仙台市若林区種次、活動内容は仙台東部道路側道の側溝の泥上げ(約200m片側)となりました。現地は、震災当日に津波が押し寄せた地域です。震災から1年半以上が経過し、瓦礫撤去や道路及び農地の復旧作業が実施され震災直後の光景とはだいぶ違いますが、まだまだ震災の深い爪痕が見られます。

今回ボランティア活動の対象となった側溝も、流末部で破損しているためうまく排水が出来なくなっています。しかし、仙台市の方でも維持管理まで手が回らず、今年の夏は悪臭と虫の発生に悩まされていたとのことです。このような状況のため、周辺地域で事業を再開された方から、ボランティア活動の要請があった場所です。

当日は、残暑の厳しい中での作業となりましたが、若手から超ベテランまで総勢39名が集結し、ボランティア活動に汗を流しました。普段の仕事の延長上の作業ではありますが、ボランティア活動は全て人力での作業です。側溝の泥上げという単純作業ではありますが、1年以上側溝の中に放置され雑草の根が張った泥を相手に四苦八苦、5分もすればどっと汗が吹き出してくるような状況です。

特に現場から離れて久しいベテラン勢にとっては、久しぶりに酷使した筋肉もあったのではないのでしょうか?とはいっても昔取った杵柄、徐々に勘を取り戻し、時間の経過に伴い作業のスピードが上がっていきます。当日の段取りが悪く、土嚢袋の不足などもありましたが、参加して頂いた皆様の助言と協力により、何とか無事作業を終えることが出来ました。

作業終了後、ボランティアを要望された事業者さんから差し入れもあり、丁寧なお礼をいただきました。併せて、仙台市社会福祉協議会仙台市ボランティアセンターからもお礼とは是非今後も継続をお願いしたいとの要望をいただきました。

今後も広報委員会では、継続的なボランティア活動を企画していきたいと思っております。その際は、今回と同様、会員各社のご協力を是非お願い致します。



## 編集後記

道建協とうほく 50 担当

三上 隆之 (大成ロテック(株)東北支社)

木目澤 祐二 (東亜道路工業(株)東北支社)

東日本大震災で被災されました方々には 心からお見舞い申し上げます。  
また、日々復興に向け汗をかいておられる方々並びにそのご家族ご一統様、お疲れ様です。  
おかげさまでございます。

未曾有の災害の原因が、自然災害だけなのか無作為による災害のファクターはないのか…等いろいろと騒がれていますが、我々国民の関心はすでに前に向いていると思います。

さる 10月24日、25日 **EE 東北'12** が 震災による中止をまたぎ、復興された夢メッセみやぎにて 2年ぶりに盛大に開催されました。

出展社数は前回の2倍を超え過去最高の295社、出展技術総数は661技術上りました。  
なかでも復旧・復興の技術分野におきましては、150技術を越え、まさしくスローガンどおり「**世界が驚く復興目指せ！新技術が築く未来の東北**」に向かっている印象を受けました。

我々技術家集団が、国家国民・地域と地域住民のため、情熱と技術を傾け、社会資本の充実をとおして、少しでもそのチカラになれば、やりがいのある仕事についたなあと皆さん思うのではないのでしょうか？

かの バッテンライ 八田興一氏のごとく 名前は残りませんが草莽崛起、今、私たち日本人は**伝統文化のチカラ、情熱のチカラ、技術のチカラ**でこの大難を乗り越えられると信じます。

(木目澤)

## がんばろう！日本

